

2019年 3月 27日

新宿区長 宛て

団体名（特非）あそびと文化のNPO  
 新宿子ども劇場  
 所在地 新宿区四谷 2-10-802  
 （フリガナ）リジチョウ ノリマツヨシミ  
 代表者氏名 理事長 乗松好美

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第10条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 収支計算額

|        |         |   |
|--------|---------|---|
| 収入     | 954,174 | 円 |
| （内助成金） | 500,000 | 円 |
| 支出     | 954,174 | 円 |

2 助成事業

|            |   |
|------------|---|
| 事業名        | 日本の芸能でノーマライゼーション  |
| 実施の日時又は期間  | 2018年5月30日（水）～2019年2月16日（土）   |
| 対象者の範囲及び人数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会 全6回 新宿子ども劇場の会員延べ96名（うち区民90名）</li> <li>●ワークショップ事業 延べ127名（うち区民110名）                         <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）太鼓でコミュニケーション</li> <li>（2）新宿養護学校アウトリーチ</li> <li>（3）子ども落語ワークショップ</li> </ul> </li> <li>●講演会事業 延べ101名（うち区民95名）                         <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」</li> <li>（2）落語発表会 発表者</li> </ul> </li> <li>●公演事業 延べ539名（うち区民492名）                         <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）落合公演「おはなしポロロン」9/30 聖母ホーム</li> <li>（2）荒馬座公演「お祭りどんどん」10/27 愛日小学校</li> <li>（3）「桂宮治の子ども落語・落語会」11/18 東戸山小学校</li> </ul> </li> </ul> 事業総人数：参加者863名、講師・スタッフ延べ42名、事務局延べ41名<br>＊各事業の内訳については別紙参照 |
| 事業内容       | あらゆる人が共生できる地域を目指して、文化活動を通して地域をつなげることを目的とし、以下の事業を行った。<br>【1】ワークショップ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①太鼓でコミュニケーション</li> <li>②新宿養護学校アウトリーチ</li> </ul>   |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>③子ども落語ワークショップ</p> <p>【2】講演事業</p> <p>①講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」</p> <p>②子ども落語発表会</p> <p>【3】公演事業</p> <p>①「おはなしポロロン～絵本ライブにほんのうた～」</p> <p>②「お祭りどんどん」</p> <p>③「桂宮治の子ども落語」</p> <p>公演事業に関しては広くサポーターを募集し、広く事業に共感、協力をしてくれる区民を募った。</p> <p>事業期間中継続して委員会を開催して、事業の精査を図った。</p>   |
| <p>具体的な活動状況</p> | <p>●委員会 全6回</p> <p>事業内容：事業の企画、運営方法の決定、進捗状況の確認、成果と課題の確認。</p> <p>・大きな成果として、講演会を通して、障がい者の持つ困難さを具体的に知ることが出来たことを共有。鑑賞会に参加するハードルの高さを知り、私たちが準備できることは何かを検討した。委員会を通して、事業の目的への共感を高め、普及、啓蒙に努めた。</p> <p>●ワークショップ事業</p> <p>・「太鼓でコミュニケーション」</p> <p>事業内容：和太鼓を介して、多世代のコミュニケーションを深めた。</p> <p>・「新宿養護学校アウトリーチ」</p> <p>事業内容：和太鼓を8台用意し、小学部の子どもたちに和太鼓体験の場を提供した。まずは、太鼓を触ることから始め、実際に叩いてみることで、音の響きを体全身で感じる。講師によるデモンストレーションの時間も設け、プロの実演を体感した。</p> <p>・「子ども落語ワークショップ」</p> <p>事業内容：落語の小噺に挑戦することを通して、落語に親しみ、表現する面白さを体験する。</p> <p>簡単なパントマイムの体験から始まり、顔の向きや、手ぬぐいの使い方など、話だけでいろいろなものを表現したり、一人で複数の人を表現する落語の基本を体験した。</p> <p>●講演会事業</p> <p>・講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」</p> <p>事業内容：文化というツールを通して、子ども、高齢者、障がい者、子育て中の若い世代など、あらゆる人が同じ地域で、区別されることなく共生する社会を目指して、違いを知り、お互いを尊重するために取り組むことをテーマにパネルディスカッションを行った。</p> <p>パネラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺島 京子（新宿養護学校校長）</li> <li>・立原麻里子（新宿区手をつなぐ親の会副会長）</li> <li>・志村 泰子（笹岡町地区民生委員・児童委員協議会会長）</li> <li>・松島貴美子（あそびと文化のNPO新宿子ども劇場副理事長 四谷第六小学校スクールコーディネーター）</li> </ul> |

|              |   |
|--------------|---|
|              | <p>コーディネーター<br/> ・乗松 好美（あそびと文化の NPO 新宿子ども劇場理事長<br/> 戸山小学校スクールコーディネーター）</p> <p>・落語発表会<br/> 事業内容：ワークショップ事業の子ども落語に参加した子どもの中で、希望した 8 名で発表の場を設けた。<br/> 観客は幼児から大人までと幅広く、落語発表者の頑張りを観客側もともに楽しみ、温かく見守った。</p> <p>●公演事業<br/> 区内 3 か所で実施。3 公演共通で、18 歳以下の子どもと 75 歳以上の高齢者は無料、大人 1000 円という参加しやすい条件設定で実施した。</p> <p>・「おはなしポロロン～絵本ライブにほんのうた～」<br/> 事業内容：杉原徹とかずまによるユニット“てつかず”による歌と語りのコンサート。聖母ホームの入居者も含め、幅広い年代で楽しめるプログラムになっていた。<br/> 杉原氏は新宿区落合在住。</p> <p>・「お祭りどんどん」荒馬座<br/> 事業内容：民族歌舞団荒馬座による和太鼓と獅子舞の公演。<br/> 小学生の小獅子隊を募集して客席を回った。<br/> 後半は和太鼓体験コーナーを設け、鑑賞だけではなく、実際に和太鼓を叩いてみた。</p> <p>・「桂宮治の子ども落語」<br/> 事業内容：11 時は「落語入門」14 時は「本格落語」として実施。<br/> 海城学園古典芸能部が前座をつとめた。<br/> 東戸山小学校の PTA とも連携し、児童たちによる“ひがとカフェ”を同時開催したことで、公演の前後にカフェでお茶を楽しむ参加者が多かった。<br/> また、ひがとカフェで活躍していた子どもたちも、公演時間は落語を見に来ていた。</p> |
| <p>事業の成果</p> | <p>これまで子どもと高齢者を繋ぐ活動は行ってきたが、今回の事業でノーマライゼーションをテーマに、障がい者に意識しフォーカスした講演会やアウトリーチ事業が実施できたことで、新宿で生活をしている障がい者へ思いを馳せることが出来るようになったことはとても大きな成果と言える。まずは理解し、共生への働きかけの一步を踏み出すことが出来た。</p> <p>事業全体の参加者 863 名のうち 9 割以上が新宿区民であり、アンケートの満足度もほぼすべての事業においてとても満足・満足が 8 割を超えていることから、全体として新宿区民に対し大きな成果があったと考える。</p> <p>○「太鼓でコミュニケーション」<br/> 日本の伝統芸能である和太鼓を十分に体験することが出来た。<br/> 親子や祖父と孫と一緒に和太鼓の体験を通して、</p>  |

新たなコミュニケーションを築いていた。

○「新宿養護学校アウトリーチ」

重い障害を抱えている児童が多いことから、普段、健常者と同じようには芸術に触れる機会が持てない。プロの芸術家を学校という場に届けることで触れる機会を持てたことは大きい。

ワークショップの時間を通して、生き生きと和太鼓に触れ、楽しむ姿が見られた。参加者の中には、酸素濃度が上がるなど身体的状況が向上する児童もあり、和太鼓体験が子どもたちにもたらした効果は大きかった。

○「子ども落語ワークショップ」

講師である桂宮治氏から子どもたち一人一人にあった

ワークショップを受けたことで、子どもたちはそれぞれ自分の課題を見つけ、取り組むことが出来た。

ワークショップ受講者が全員、事前に行われた「子ども落語」を鑑賞した。意欲が高まり、より一層落語を身近に感じ受講することが出来た。

○講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」

各分野で活動しているパネラーの話を通して、各団体の活動を知ることが出来た。それぞれの存在は知っていても、実情に触れる機会がなかった参加者同士が、パネルディスカッションという形で実施することで、立場を超えてお互いを知る機会になった。

その中でも、まだまだ障害者に対する理解や配慮が低いこと、もっと当たり前で共生できる社会の実現が課題であることなどが明らかとなった。お互いのフィールドを活用しながら取り組む方策案もでて、今後の発展が期待できる。

○「落語発表会」

発表した子どもたちは自宅でも練習を重ね、多くの人の前で発表することで、自信につながり、より落語を楽しむことが出来た。

観客側も、幅広い年代が集まり、子どもの落語を楽しむことが出来た。

○公演事業 3公演

小学校等、身近な会場で実施することで、地域の人が気軽に参加しやすい環境を作ることが出来る。参加者の9割は近隣住民で、公演事業を通して、顔の見える関係を深めることが出来た。

サポーターとして、事業を支える人の輪も定着をみせてきている。

さらなる広がりを作っていくことは今後の課題として残る。

30年度一般事業助成実績報告書 〈別表〉

事業名：日本の芸能でノーマライゼーション

実施期間：2018年5月30日（水）～2019年2月16日（土）

|   |  |
|---|--|
| <p><b>委員会</b></p>   | <p>実施日：①6/16 ②7/14 ③9/15 ④10/13 ⑤11/24 ⑥2/16（全6回）<br/>                 会場：ゆったり～の<br/>                 参加人数：新宿こども劇場の会員のべ96名（うち区民90名）事務局3名×6回</p>  |
| <p><b>ワークショップ事業</b><br/>                 のべ127名<br/>                 （うち区民110名）</p> | <p>(1) 太鼓でコミュニケーション<br/>                 実施日：①6/24 ②7/1（全2回）<br/>                 会場：新宿区立愛日小学校<br/>                 参加人数：①34名 ②32名 講師・スタッフ①4名 ②4名・事務局①2名②2名（参加者全員区民）<br/>                 講師：露木一博氏（東京打撃団所属）<br/>                 アンケート結果（満足度）：①大変満足78% ②満足10% ⑥未記入12% アンケート回収枚数32枚</p> |
|   | <p>(2) 新宿養護学校アウトリーチ<br/>                 実施日：1/18<br/>                 会場：新宿養護学校 小学部<br/>                 参加人数：児童22名・教師15名 講師1名・スタッフ4名・事務局3名<br/>                 講師：露木一博氏（東京打撃団所属）<br/>                 アンケート結果（満足度）：①大変満足100%（教師へ向けてのアンケート） アンケート回収枚数8枚</p>                          |
|   | <p>(3) 子ども落語ワークショップ<br/>                 実施日：12/2<br/>                 会場：大久保地域センター 和室<br/>                 参加人数：子ども12名・保護者12名（うち区民22名・区外2名） 講師1名・スタッフ3名・事務局3名<br/>                 講師：桂宮治（落語芸術協会所属）<br/>                 アンケート結果（満足度）：①大変満足84% ②満足8% ③普通8% 聞き取り件数12件</p>              |

30年度一般事業助成実績報告書 〈別表〉

|  |  |
|--|--|
| <p><b>講演会事業</b><br/>のべ101名<br/>(うち区民95名)</p> | <p>(1) 講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」<br/>実施日：9/23<br/>会場：若松地域センター 第2集会室<br/>参加人数：15名・パネラー4名・コーディネーター1名・スタッフ5名・事務局2名(全員区民)<br/>アンケート結果(満足度)：①大変満足64% ②満足18% ⑤未記入18% 回収枚数11枚</p>                            |
|  | <p>(2) 落語発表会<br/>実施日：12/16<br/>会場：ゆったり～の ひろば<br/>参加人数：発表者8名・観客73名(うち区民75名・区外6名) スタッフ3名・事務局3名<br/>アンケート結果(満足度)：①大変満足75% ②満足25% 聞き取り件数8件</p>   |
| <p><b>公演事業</b><br/>のべ539名<br/>(うち区民492名)</p> | <p>(1) 「おはなしポロロン～絵本ライブにほんのうた～」<br/>実施日：9/30<br/>会場：聖母ホーム<br/>参加人数：132名(子ども40名・高齢者33名・障がい者1名)(うち区民112名・区外20名) スタッフ7名・事務局3名<br/>アンケート結果(満足度)：①大変満足64% ②満足9% ⑤未記入27% 回収枚数11枚</p>                        |
|  | <p>(2) 「お祭りどんどん」<br/>実施日：10/27<br/>会場：新宿区立愛日小学校 アリーナ<br/>参加人数：71名(子ども26名・高齢者2名)(うち区民69名・区外2名) スタッフ6名・事務局2名<br/>アンケート結果(満足度)：①大変満足77% ⑤未記入23% 回収枚数13枚</p>   |
|  | <p>(3) 「桂宮治の子ども落語」<br/>実施日：11/18 ①11時 ②14時(全2回)<br/>会場：新宿区立東戸山小学校 東戸山ホール<br/>参加人数：336名(子ども150名・高齢者17名・障がい者2名)(うち区民311名・区外25名) スタッフ8名 事務局3名<br/>アンケート結果(満足度)：①大変満足85% ②満足2% ③普通1% ⑤未記入12% 回収枚数60枚</p> |

一般事業収支決算書

|                   |                     | 費目        | 決算額   | 内 訳  |
|-------------------|---------------------|-----------|---|--|
| 支<br>出<br>区<br>分  | 事<br>業<br>費         | ①使用料及び賃借料 | 21,100 円  | 講演会会場費 2,700 円・落語ワークショップ会場費 1,800 円<br>落語発表会会場費 7,600 円・委員会会場費 6 回分9000円   |
|                   |                     | ②印刷製本費    | 36,841 円  | 講演会チラシ 5,840 円 おはなしポロロン 4,806 円<br>お祭りどんどん 11,050 円 落語 11,315 円 資料等 3830 円   |
|                   |                     | ③消耗品費     | 29,996 円  | 養生 2265 円、用紙 363 円 インク 15334 円 ティッシュ 306 円<br>封筒・ラベル 2143 円ノート 346 円<br>ポリ袋 2127 円 シート 7112 円  |
|                   |                     | ④委託費      | 0 円   |  |
|                   |                     | ⑤講師謝礼     | 370,000 円   | 講演会 20,000 円 ポロロン 80,000 円<br>お祭りどんどん 100,000 円 子ども落語 100,000 円<br>落語ワークショップ 30,000 円、落語発表 5,000 円、<br>アウトリーチ 35,000 円   |
|                   |                     | ⑥その他謝礼    | 95,000 円  | チラシ制作費 5000 円×4 回 講演会スタッフ 3000 円×3 名<br>おはなしポロロンスタッフ 3000 円×3 名<br>お祭りどんどんスタッフ 3000 円×3 名 子ども落語 3000 円×6 名<br>落語ワークショップ 3000 円×3 名 発表会 3000 円×3<br>アウトリーチスタッフ 3000 円×4 名 |
|                   |                     | ⑦交通費      | 0 円   | 講師謝礼に含む  |
|                   |                     | ⑧保険料      | 0 円   |  |
|                   |                     | ⑨その他諸経費   | 19781 円   | チラシ・資料・チケット送 17708 円 著作権料 2073 円   |
|                   |                     | ⑩人件費      | 132,000 円   | 1000 円×3 時間×8 日+1000 円×4 時間×4 日+1000 円×8 時間<br>(1000 円×3 時間×8 日+1000 円×4 時間×3 日+1000 円×6 時間)<br>×2 人   |
| 事業費 (①から⑩の合計)     |                     | 704,718 円 |   |  |
| ⑪ファンディングに関する経費    |                     | 28,721 円  | サポーターチラシ 6200 円 送料 22201 円コピー代 320 円  |  |
| 助成対象経費<br>(事業費+⑪) |                     | 733,439 円 |   |  |
| 余剰金 (A)           |                     | 12,000 円  |   |  |
| 助成対象外経費           |                     | 208735 円  | 太鼓でコミュニケーション 138,689 円<br>お茶・昼食代 15,102 円 プレゼント他 12,044 円<br>マット 17,900 円 団体構成員謝金 25000 |  |
| 事業総額              |                     |           | 954,174 円   |  |
| 収<br>入<br>区<br>分  | 内 容                 |           | 決算額   | 内 訳  |
|                   | ①事業収入<br>(参加費、資料代等) |           | 194,000 円   | 公演チケット 1000 円×194  |
|                   | ②その他の収入             |           | 46,000 円  | サポーター収入 一口 1000 円×46 口   |
|                   | ③助成金交付額             |           | 500,000 円   |  |
|                   | ④団体負担金              |           | 214,174 円   | 会員参加費 子ども夢基金 100,081 円   |
| 収入総額              |                     |           | 954,174 円   |  |
| 余剰金 (B)           |                     |           | 0 円   |  |

|       |          |
|-------|----------|
| 返 還 金 | 12,000 円 |
|-------|----------|

## 一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

| 評価のポイント  | 自己評価   |
|--|--|
| 事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。                         | <p>荒馬座公演と講演会と新宿養護学校へのアウトリーチの日程が予定とはずれしたが、事業は計画通りに実施できた。</p> <p>委員会に関しては申請時は5回の予定であったが、新宿養護学校へのアウトリーチが学校側の希望から実施日程が1月に変更になったことから、まとめの委員会を追加で実施した。</p>   |
| 実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。                  | <p>どの事業も、謝金対象スタッフのほかにボランティアスタッフも携わり、滞りなく実施できた。</p> <p>安全面においても、事前の打ち合わせを綿密に行い、会場に対する人数も適正で安全面の確保は十分であった。</p>   |
| 事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。                 | <p>各事業の前後に委員会を設け、事業主旨と内容を精査し、委員や広報誌を通して広く区民の啓発も行ったことから、ノーマライゼーションへの理解が深まった。</p>  |
| 地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。 | <p>課題①～④</p> <p>参加しやすい料金設定で、新宿区内の各地で実施したことにより、子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があり、文化体験を通して顔が見える関係に近づけることが出来た。</p> <p>課題②、⑤</p> <p>障がい者との共生に関しては、講演会を通しての気づきが大きく、共生に向けての環境整備等、継続して取り組むべき課題が明確になってきた。障がい者や子ども、高齢者といった社会的弱者が安心して参加できる文化体験の場を作ることの重要性の理解が深まった。</p> <p>課題①～⑤</p> <p>今後も、障がいの有無やあらゆる年代の人が集う文化活動を継続していくことで、お互いを知り、理解し合える関係が地域に築かれることが見込まれる。</p> |
| 団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。                             | <p>各事業で日頃より培ったコーディネーターとしてのスキルを活かし、参加した人たちがより良い体験を出来る環境を整備することが出来た。また、日常に活動しているフィールドを活用して、多世代の人に事業を紹介することが出来た。</p> <p>子ども・高齢者・障がい者・若者など同じ地域で生活するすべての人を視野に入れ、共生社会を目指し、身近な地域で文化活動を展開するという当法人の役割を再確認した。</p>  |
| 経費見積りは適正だったか。                                      | <p>適正だった。</p> <p>ほぼ予算に沿って実施できた。</p>  |



|   |   |
|---|---|
| <p>(今回の事業を次年度以降も継続していく場合) 継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。</p> | <p>事業の目指している姿は、今後も継続していくべき事業であること、さらに発展させていくべき事業であることを認識している。</p> <p>しかし財政面に関しては、支援してくれるサポーターを募集し、資金確保に努めたのだが、毎年、寄付を集める事はハードルが高い。継続して協力を得られるような方策を検討していきたい。</p> |
| <p>事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。</p>                 | <p>障がい者を受け入れる体制が取り切れなかったことから、障がい者の事業への参加が少なかったことは大きな課題として残る。</p> <p>今後も障がい者などハンディを抱えた方への配慮をアピールする事業を継続することで、よりよい共生社会を目指すことが出来ると思う。</p>                          |

その他

\*参加者アンケートの結果を報告してください。

\*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

●ワークショップ事業

6/24・7/1「太鼓でコミュニケーション：愛日小学校」



1/18「新宿養護学校アウトリーチ」



12/2「子ども落語ワークショップ」



●講演会事業

9/23「暮らしあうまち お互いさまの地域づくり」若松地域センター



12/16「子ども落語発表会」



●公演事業

9/30 「おはなしポロロン〜絵本ライブにほんのうた〜」 聖母ホーム



10/27 「おまつりどんどん」 愛日小学校



11/18 「桂宮治の子ども落語」

